

# Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

## 浜岡中学校の新校舎図鑑

vol.11 ティーチャーズコモン

今回は、ティーチャーズコモンを紹介します。

教職員が職員室以外で自由に使える空間「ティーチャーズコモン」を2階北側に設けました。同コモンには、教材研究や指導に必要な参考図書用書架、パーソナルスペース（個人作業机）、ミーティングスペース（グループワーク用テーブル）、カフェスペース（休憩場所）を設置しています。また、併設する更衣室にはユニットシャワーや気分が優れない時に休むことができるソファ、パウダールームを備え付けています。同コモン南側のテラスからは中庭や普通教室側を見渡すこともできます。

このような環境を作ることで、教職員の気分転換や働く意欲の向上に寄与し、充実した教育活動が展開されることを期待しています。

次回は、被服室・調理室を紹介します。



藤井紗希▶  
佐藤工業(株)・建築担当



照 会 教育総務課 ☎0537-298733

市は、中部電力(株)やその他関係機関と協力して日々、市民の安全・安心の確保に努めています。

万が一、原子力災害が発生した場合、富士山静岡空港に隣接する県原子力防災センター(オフサイトセンター)に現地対策本部が設置され、原子力規制庁や自衛隊などの関係省庁、県や市町、中部電力(株)などの各関係機関が参集します。

現地対策本部の設置目的は、関係機関から集約された情報を共有し、各機関が緊密に連携して放射線被ばくから住民を防護することです。具体的には、避難経路の設定、避難者の誘導、輸送手段の確保、避難退避時の検査や除染、被ばく者の応急医療や救護などについて調整します。

市は、現地対策本部で決定された避難指示や原子力災害



▲静岡県原子力防災センター(オフサイトセンター)

市は、中部電力(株)やその他関係機関と協力して日々、市民の安全・安心の確保に努めています。

万が一、原子力災害が発生した場合、富士山静岡空港に隣接する県原子力防災センター(オフサイトセンター)に現地対策本部が設置され、原子力規制庁や自衛隊などの関係省庁、県や市町、中部電力(株)などの各関係機関が参集します。

現地対策本部の設置目的は、関係機関から集約された情報を共有し、各機関が緊密に連携して放射線被ばくから住民を防護することです。具体的には、避難経路の設定、避難者の誘導、輸送手段の確保、避難退避時の検査や除染、被ばく者の応急医療や救護などについて調整します。

市は、現地対策本部で決定された避難指示や原子力災害

に関する情報を即座に同報無線や広報車といったさまざまな広報手段を使って市民の皆さんに周知します。

御前崎市民は、原子力災害が発生した場合、放射性物質が放出する前に避難することを原則としています。市や関係機関から発信される情報を確実に入手し、落ち着いて行動することが重要です。

## Atomic

暮らしと原子力

原子力災害時の  
オフサイトセンターの役割について